

郵便はがき

料金後納郵便

From SRA HD

証券コード 3817

2023年12月末日の株主様にお送りしております

2024年3月期

第3四半期 株主通信

2023年4月1日～2023年12月31日

株式会社SRAホールディングス

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-32-8

TEL: 03-5979-2666 <https://www.sra-hd.co.jp/>

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1

TEL: 0120-232-711(フリーダイヤル)

(返還先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

 **株式会社SRAホールディングス**

ハガキがぬれている場合は乾かしてからご覧ください

株主の皆様へ

皆様には、日頃より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年1月に発生しました能登半島地方を震源とする大規模地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

米中摩擦、ウクライナ問題の長期化、中東情勢の緊迫化など地政学リスクが高まるなか、国内景気は緩やかながらも回復基調にあり、情報サービス産業においては、業務効率化やビジネスの改革等の投資を中心に需要は堅調に推移しております。

そのような中、当社の第3四半期業績（前年同期比）につきましては、「開発事業」、「運用・構築事業」、「販売事業」の全てのセグメントで増加し、特に「販売事業」が好調に推移した結果、売上高が増収、また、粗利益、営業利益、経常利益、四半期純利益について、全て増益となりました。

これを受け、本年度通期予想について、売上高は455億円（当初予想比+10億円）、営業利益は65億円（同+2.5億円）、経常利益は73億円（同+11.5億円）、当期純利益は40億円（同+4億円）に上方修正するとともに、期末配当につきましては、1株当たり10円増配し、110円（年間配当150円）に予想を修正いたします。

一方で、今後、中国経済の悪化をはじめとした海外景気の鈍化や、為替及び株式相場の不安定、物価高騰等が国内景気や企業の投資意欲に与える影響も懸念されるなど、先行き不透明な状況であり、これまで以上に内外の環境変化やお客様の投資動向を注視しつつ、売上の拡大、利益率の向上に努めてまいります。

皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年2月

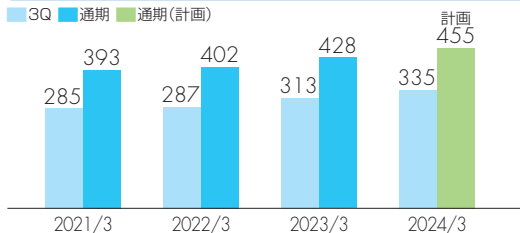
株式会社SRAホールディングス

代表取締役社長 **大熊克美**

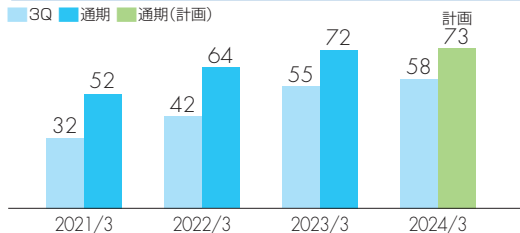


第3四半期 連結業績ハイライト

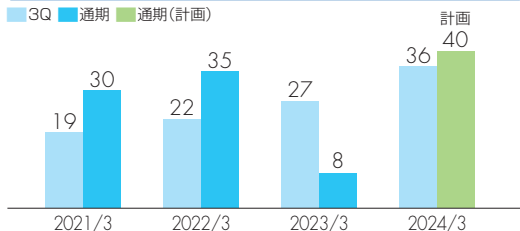
売上高 335億円 (通期計画:455億円) (単位:億円)



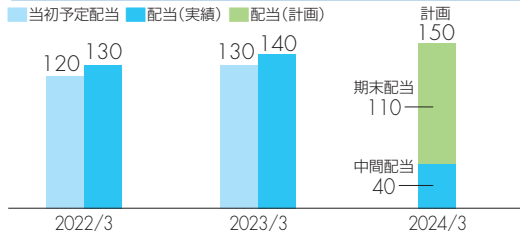
経常利益 58億円 (通期計画:73億円) (単位:億円)



親会社株主に帰属する当期純利益 36億円 (通期計画:40億円) (単位:億円)



1株当たり配当金 (単位:円)



※2024年2月8日に「2024年3月期通期連結業績予想の修正（上方修正）及び営業外収益（為替差益）の計上ならびに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」を当社ホームページ (<https://www.sra-hd.co.jp/>) に掲載しております。

AIを活用した医療分野における取り組みについて

SRAグループでは、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進の一環として、AI（人工知能）の活用を推進しており、医療分野においても具体的な取り組みを行っております。

グループ会社AITでは、神奈川県立がんセンター様との共同研究において、「AIを活用した遺伝性乳がん卵巣がん症候群の拾い上げシステム」を開発し、「遺伝カウンセリング支援システム」として共同で特許（第7213501号）を取得、昨年、同センターにて運用を開始しました。

近年、遺伝性腫瘍の存在が知られるようになりましたが、その発見のためには、認定遺伝カウンセラーのような専門人材が不可欠です。しかしながら、専門人材が不足しているため、十分な遺伝カウンセリングの機会の提供が進んでいないのが現状です。

そこで、AIの会話機能であるChatbotを活用し、患者様が家族歴や病歴に関する質問に答えることで、遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）の可能性があるか否か一定の評価が可能となります。このように、遺伝カウンセラーが行っていた業務の一部をAIのシステムが代替することで、カウンセラーの方々の負担を軽減し、より多くの患者様、あるいはご家族に遺伝診療をご提供することが可能となります。

SRAグループは、これからも先進的なIT技術の活用により、医療分野にとどまらず、様々な社会課題を解決できるような取り組みを推進して参ります。